

令和8年度 磐田市行政経営審議会 第3回分科会 議事録

【日 時】 令和8年5月 18 日(月) 18 時 30分から 20 時 30分まで

【出席者】

●委員 5名

秋元富敏 委員 井上佳子 委員 大澤房男 委員 松本典子 委員 茂木眞佐代 委員

●事務局 7 名

企画部長 自治市民部長 こども部長 教育部長 政策推進課課長・グループ長・主任

【内容】 第3次総合計画前期基本計画(素案)の「分野3 子育て・こども・若者・教育」についての検討

第3次磐田市総合計画前期基本計画(素案)についての検討

【分野3 子育て・こども・若者・教育】

●基本政策1 妊娠・出産・子育て支援の充実 についての主な意見

- ・「施策と主な取組」に記載の取組の順番について、ライフステージに合わせた時系列の記載になっているほうが読みやすいので、記載の順番を再度検討してほしい。
- ・書き方の問題だと思われるが、子育て世帯向けなのか企業向けなのか、これをどの時期に読めばよいのか。自分たちが生活していく上で、どこを見ればよいかが前後しているので、わかりやすくした方がよい。文字数は抑えた方がよい。
- ・「施策(3)子育てしやすい環境の整備と持続可能な保育提供体制の構築」の主な取組で、保育サービスについて記載のところに、並列で児童クラブの記載があるので、分けて記載した方がよい。
- ・「施策(2)妊娠・出産・子育てに関する経済的負担の軽減や支援の充実」の主な取組2つ目の「妊婦のための支援給付金や中学校入学時の家計支援等の実施」も分けて記載した方がよい。
- ・同じく主な取組7つ目の「仕事と育児の両立に向けた～」の部分は、子育ての分野であるため、「仕事」と「育児」の記載の順番を入れ替えて「育児と仕事の両立に向けた～」に修正すべき。
- ・プレコンセプションケアの言葉の意味など、分からない人も多いので、記載方法を考えてほしい。
- ・「Topics」の中で、「女性相談」とあるが、男性でも相談したい人はいる。夫がメインで子育てをしている人もいると思うので、細かい言葉の違いが気になる人もいるので、表現を検討したほうがよい。
- ・「施策(1)妊娠・出産・子育て期の寄り添い支援の強化」のリード文で、「企業や関係機関と共創し」とあるが、いきなり共創と言われると一般市民からすると少しハードルが高い。連携の積み重ねから次第に共創に繋がっていくと思うので、ここの表現は「連携」のほうが良いと思う。

●基本政策2 こどもの育ちと権利を守る支援の充実 についての主な意見

- ・目指す姿の「全てのこどもが『自分らしくいていい』と感じられ、」は、こども若者会議の言葉なのか、大人が作った言葉なのか。こどもが言わない言葉だと感じたので気になった。こどもが言うと自己肯定感が低いこどもが安心した時に使う言葉の印象。この言葉をこどもが嬉しく思うのか、気になった。
- ・政策の背景の「こどもが幸せに暮らすまちになるために必要だと思うサポート」の1位がいじめで3位が自殺。1位と3位に対する取組はどのように対応しているか、一目で分かるようになっているとよい。
- ・こどもの意見がしっかり反映されていることが見て分かると、こどもがアンケートに答える意識も上がると思うので、記載の方法について工夫するとよい。
- ・こどもの居場所・遊び場について、就学児だと夕方に遊びに行くことも多いと思うが、学年や時間にあわせて用意できているのかが気になった。クラブに入っていれば体育館などの施設も使用できると思うが、そうではないこどもへの対応も検討していけるとよい。
- ・政策の背景に「特別な支援を要するこども・若者の増加」とあるが、外国籍の「言葉」の問題も含めて記載してもらえるとよい。
- ・こども・若者会議のメンバーに、外国にルーツのある人はいるか。応募がなかったとのことだが、外国にルーツのある人も参加するようになるとよりよいと感じた。
- ・はあと(発達支援センター)で支援を受けたい外国籍の人の通訳の問題について。支援を受ける人が自分たちで通訳を手配することが大変であったが、重層的支援として様々な部署が関わって支援していく中で、はあと側で通訳を用意してくれることになったという話があった。良い例だと思うので、こういう取組が増えていくとよい。

●基本政策3 こども・若者の健全育成 についての主な意見

- ・「施策(1)家庭の教育力の向上」で、まずは家庭からということで記載されていると思うが、もっと充実させていくということが分かる記載の方がよい。主な取組も3つだが、より充実させた方がよい。
- ・「施策(1)家庭の教育力の向上」の主な取組に、「集い、つながり、学ぶ場」の提供とあるが、中高生の親が、相談できる場所があまりないと感じる。受験もあるので親同士も相談しにくく、段々孤立しがち。そういった取組も検討してもらえるとよい。
- ・「施策(3)こども・若者の育成と地域での活躍推進」の主な取組に記載する順番については、「・中学生地域リーダー養成講座等による次世代リーダーの育成」を最初にもってきたほうが、中学から高校と対象者順になるので、読みやすい。中学生から高校・大学生まで、さまざまな取組を行っていく中で、磐田を愛してくれるこどもが増えていくような文脈になるとよい。
- ・「共創への取組」の「子育ての悩みは一人で抱え込まず、各種講座に参加して保護者同士でつながろう」については、「各種講座に参加して」とあると、それだけかと感じてしまう。講座には敷居が高くて行けないと感じる人もいると思うので、もっと広く、悩みを抱え込まないでつながれるということが分かるような表現だとよい。

●基本政策4 学校教育の充実 についての主な意見

- ・指標「学校に対する満足度」については、現状値 89.0%に対して、目標値 90%とあるが、もう少し思い切った目標設定でも良いのではないかな。
- ・「生きる力」について、市が考えている「生きる力」は教育大綱に定めた「培基根」の考えをもとにしていると思うが、ぱっと見では理解できない。言葉の意味をどこかに入れてもよいかもしれない。
- ・英語や AI などにより力がつく部分もあるが、「生きる力」とは自然体験・農業などの取組や人と触れ合う中で培われるので、そういった教育を大事にしてもらいたい。
- ・市民が読んだときに、ここでこのような教育をしてもらえるんだなと分かることが一番だと思う。磐田の教育はとても良いと思っている。他の自治体でできていないこともたくさんできているので、そのあたりがもっと伝わる内容になると良いと思う。
- ・政策の背景の一つ目の表題が「時代の変化に対応した教育の推進」となっているが、ここの表題を「こどもたちを取り巻く環境の多様化(もしくは変化)」にした方がよい。その対応として、さまざまな変化に対応した教育として AI やデジタルだけでなく探究的な学びや体験を重視した教育を推進していくとなるので、市民が思っている「生きる力」と記載内容に対しての違和感がなくなると思う。
- ・政策の背景「こどもたちを取り巻く環境の多様化」については、「支援を必要とする外国人児童生徒も多くいます」とあると、外国籍だけの話に見えてしまうので、表現の仕方を工夫してほしい。
- ・ブラジル人学校のこどもの卒業後のキャリア支援については、県の国際交流協会が県の事業を引き継ぎ、自主事業として現在取組を進めている。市が直接支援をするのは難しいと思うが、様々な連携の中で支援できないかと思っている。こどもの可能性を引き出したり、自己実現できたりするとよいと感じている。
- ・「共創への取組」に「園や学校の教育方針を…」とあるが、急に「園」がでてくる印象を受けるので、表現の仕方を検討してほしい。

●基本政策5 地域と共に創る学校づくりの推進 についての主な意見

- ・部活動の地域移行は、活動場所に行くことに対して保護者の負担があると思うので、そのことも含めてこれから検討していただきたい。
- ・指標「こどもが地域の人たちと学校や地域で関わっていると感じる教員の割合」とあるが、教員の割合でよいのか。別に良い指標があれば変更したほうがよい。
- ・指標2つとも、もっと目標値を思い切った設定にできないか。
- ・コミュニティ・スクールについては、もっと今まで以上に活性化させていくイメージを持った方がよい。地域と一緒に学校をつくっていく。今の記載だと、今まで通りに感じる。
- ・背景の「地域に開かれた学校づくり」について、児童参加型はとても良い取組だと思っている。このことをもう少し盛り込んだ方がよいと思う。取組(2)「地域に開かれた園・学校づくりの推進」に、児童の参加を促すということを書いた方がよいと思う。
- ・小学校教員の人数を増やす検討はしないのか。1クラス 30 人未満にすれば、目も行き届くので、そのような言葉も含められないか。

●分野全体 についての主な意見

- ・県立特別支援学校について、特別支援学校(県立)が豊田北部小学校跡地に開設予定。見学に行った際に感銘を受けた。そのあたりをどこかに記載できればと思う。県立だが、市との関わりを含めて項目として加えていただければと思う。
- ・県立夜間中学について、開設から3年経って、3月に初めて卒業生が誕生した。外国にルーツを持つ生徒も多く、非常に良い取組をされていたと感じる。磐田市の公立の中学校も参考にする部分がたくさんあると思うので、連携を深めていけるとよい。
- ・県立夜間中学については、磐田市民があまり知らないという現状が問題だと思うので、もっと磐田市民に知ってもらう機会を増やしてほしい。
- ・地域の取組の大体の窓口は、地域づくり協議会が担っており、見守り活動や、防災、住民安全も含めて、教育の取組も進んでいくと思っている。地域づくり協議会が学校とも連携して取組を行っているので、地域づくり協議会の名前が計画にもう少しでてくるとよいと感じる。
- ・「外国人」を表す言葉について、計画内での表記の仕方を統一したほうがよい。